

所 属 鳥取県漁業協同組合（淀江支所）
氏 名 にしむら ひろふみ ゆたか
西村 浩文（40歳）・ 祐（32歳）
船 名 てんゆうまる しんようまる
天佑丸（4.9トン）・ 信洋丸（2.1トン）
漁業種類 刺網、釣り、潜水、遊漁



～淀江に兄弟船あり～

西村兄弟は、淀江でハマチやサワラ、アジを狙った刺網漁を主に行っている。一隻の船で操業を行う、いわゆる兄弟船だ。父が漁師をしていたことが影響したようで、兄の浩文さんは当然のように漁師を目指した。

「網を入れる時のワクワク感、そして引き揚げる時のドキドキ感は他の仕事では味わえない感覚だ」と話す。そして、弟の祐さんは兄と一緒にの船に乗るため漁師の道を選んだ。その理由は、「数年前に体調を崩した兄をサポートしたかったから」と一言。兄弟を前にしてお互いの仕事ぶりを尋ねてみると、はにかみながらも兄弟揃って「まじめ」と答えた。兄弟の性格は違うように感じたが、その違いの中にもお互いに通じ合っているものがあるのだろう。きっとそんな兄弟だからこそ兄弟船として成り立っているに違いない。

～ストイックな兄～

兄の浩文さんに趣味を聞くと、現在のスラリとした体型の印象からは想像できない程のマッチョ体型の写真を見せてくれた。ジムに通い自分と向き合いストイックに体を鍛えていたそうだ。現在、そのストイックさは形を変えて漁業に注ぎ込まれているに違いない。

（文責：門脇 慧史）